（2）商業：商業の充実

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「既存店の販路拡大等」
「生活の利便性向上」

施策の目的

村内の既存店への多様な支援策を講じて販路拡大に取り組むなどにより、暮らしの利便性向上を図ります。そのことにより、基本的な買い物は村内で完結する村を目指します。

また、臨海部企業との連携を強化して共存共栄を図ります。

現状を踏まえた課題

・商業従事者の高齢化や後継者不足等により、村内の商店数が減少しています。このことによって住民の消費機会は村外に向く傾向となっています。

・一方で高齢化の進展に伴い、身近な商業施設で基本的な買い物ができる基盤が整っていることの重要性はさらに高まっています。

▶取り組みの体系

【商業】商業の充実	既存店の販路拡大・販売支援等の推進
	ニーズに応じた新業態の既存店等への展開支援
	商工会への継続支援

主な取り組み

① 既存店等の販路拡大・販売支援等の推進

村内商店の販路拡大とともに、既存店等が展開する宅配サービス等の支援に取り組みます。

② ニーズに応じた新業態の既存店等への展開支援

村内で基本的な買い物ができるように、住民から求められている業態（ドラッグストア等）に対する店舗展開のアプローチや、既存店における多様な業種展開（取扱商品の多様化）を支援します。

③ 商工会への継続支援

商工業振興の先導役である商工会への支援を継続し、創業、経営、事業継続支援を連携して行います。

計画指標	基準値 （令和３(2021)年度）	目標値 （令和９(2027)年度）
① 村内の既存店が住民向けに展開する宅配サービス等に対する補助制度 ・令和９（2027）年度までに整備します。	－	整備済
② 住民ニーズに応じた既存店における多様な業種展開への補助制度 ・令和９（2027）年度までに整備します。	－	整備済
③ 商工会と連携した、事業者が必要とする支援策 ・令和３（2021）年度に実施している商工会との連携を継続します。	継続	継続

住民・行政の協働に向けて

▶**行政：**村内商店の存続に向けた支援策を講じます。
▶**住民：**村内における積極的な消費に努めます。